

A

B

C

D

医療材料受発注システムを利用した組合員法人の経営サポート

兵庫県医療事業協同組合

医療材料のマスターを整備することにより、組合と組合員をオンラインで結び、受発注システムを構築。受発注業務の効率化、データ収集による在庫削減と価格低減を推進する。

- ▶所在地：〒650 0047 兵庫県神戸市中央区港島中町5丁目3番7号 ▶電話番号：078 303 7331
- ▶FAX番号：078-3030-7332 ▶設立：平成7年7月 ▶出資金：50,600千円
- ▶組織形態：同業種同志型組合 ▶地区：兵庫県 ▶主な事業：医療業 ▶組合員：13人 ▶組合専従者：6人
- ▶専従理事：1人 ▶URL：http://www.hyogo-di.or.jp/

背景と目的

当組合の設立目的は組合員医療機関の「安全」「有効性」「経済性」向上である。平成20年に診療報酬の改定があり、診療報酬の引き下げに伴い、保険請求できる特定医療材料が約10%引き下げられるなど厳しい経営状況になっていた。組合設立当初から、医薬品においては、組合と病院・診療所をオンラインで結び、組合が一括して医薬品代理店に対して発注を行ってきた。医療材料においても、共同受発注システムの導入が求められていた。そこで共同受発注システムを開発し、価格管理を行い、スケールメリットと合理化を目指すことになった。

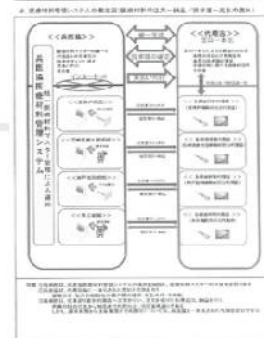
事業・活動の内容

組合と病院・診療所をオンラインで結び、組合員からの受注を組合で受けて、組合が一括して医療材料代理店に対して発注を行うシステムである。①当システムを利用して、当組合が一括して代理店へ発注し、その支払い代行を行う。②当組合が実績データの管理を行い、代理店との価格交渉を集約する。③組合員法人の状況に合わせて、柔軟な運用をしている。例えば、在庫倉庫を持つ所はシステム内で在庫管理も行っている。

成果

システムの導入後、請求書点検作業・価格交渉、マスター整備はすべて当組合で実施するので組合員法人担当者の事務作業が合理化され、医療材料購入額の算出が短縮、支払代行方式により、支払いサイトを統一、延長した。院内SPDを採用した組合員法人は同時に看護業務の軽減もできた。

最も有意義な点は組合員法人の医材マスター・購入実績をもとに、価格交渉をすすめる準備が整ったことである。また、システム導入により、代理店・メーカーから情報を収集できるようになった。組合が情報を管理し、組合員法人に新医療器械・医療材料の勉強会を開催する等、有益な情報提供を円滑に行う体制が整った。



医療材料受発注システムの操作画面



組合事務所

医療材料管理システム概念図等